

株式会社学情

2025年3月14日発表

株式会社学情

2025年10月期 第1四半期
決算補足説明資料

(インタビュー形式での資料となります)

(1)業績について

東証プライム上場:証券コード2301

つくるのは、未来の選択肢

学情

GAKUJO

東証プライム上場

1. 2025年10月期第1四半期の決算をどのように評価していますか？

売上高は、1,448百万円(前年同期比97.8%)、営業利益は、△402百万円(前年同期は△57百万円)となっています。新たな季節要因が発生したことにより、減収減益となりました。主に新卒採用において、4年生の就職活動は終了し、3年生も企業探しからセミナーや選考参加のフェーズに移行していったことが影響しました。第1四半期は、企業の採用活動(母集団形成時期)の狭間に位置することとなり、売上高が前年よりも伸び悩んだと分析しています。しかし、採用マーケットの状況は良好であり、企業の採用意欲は旺盛です。通期計画は据え置き、通期での計画達成を目指してまいります。

2. 減収となった要因は、どのように分析していますか？

減収の主な要因は、就職活動および採用活動の季節性の変化に伴い、売上の一部が下期に移動するためです。第1四半期においては、4年生の就職活動は終了し、3年生も企業探しからセミナーや選考参加のフェーズに移行していったことが影響しました。また、企業の戦略的なキャリア採用および第二新卒採用が拡大しており、4月入社や10月入社の求人が増加する傾向にあります。これにより、キャリア採用および第二新卒採用においても季節性が生じています。

また、新卒採用サービスの売上の山場が変わったことは、採用マーケット内の学情の地位が向上した影響もあると考えています。以前は、他社サービスをメインで利用する企業が、採用活動の後半戦に「追加の母集団形成」を目的に就職博に出展するケースが多く見られました。

しかし現在では、採用活動の早期・前半戦にメインで利用するサービスとして、イベントや「Re就職キャンパス(旧あさがくナビ)」を活用いただいています。

採用活動の早期・前半戦は第2四半期以降に行われるため、売上の山場も第2四半期以降に移動しています。その証拠に、4月・5月に開催する「キャリアデザインフォーラム」の受注高(2月末累計)は前年同時期比436.4%となっています。

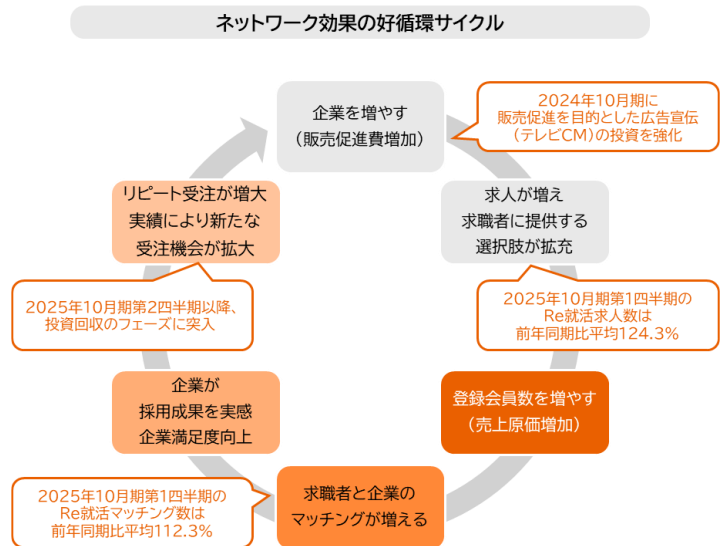


3. 減益となった要因は、どのように分析していますか？

減収の影響は軽微であり、主な要因は「プロモーション(会員登録促進)」「広告宣伝(販売促進)」「システム開発」などの投資を計画的に実行したためです。これらの投資の効果は出ており、ネットワーク効果の好循環を作ることができています。

4. ネットワーク効果とは具体的に、どのようなものを指していますか？

「Re就活」や「Re就活30」の求人数を増やすことで、求職者に提供できる選択肢が充実し、登録会員数を増やすことができます。登録会員数が増えると、求職者と企業のマッチングが増え、企業が採用成果を実感します。そして、採用成果に満足した企業が継続して利用し、売上が増大していきます。2024年10月期に販売促進を目的とした広告宣伝(テレビCM)の投資を強化していたため、2025年10月期第1四半期のRe就活の求人数は、前年同期比平均124.3%で推移しました。そして、求人数が増えていることに連動し、登録会員数が増え、「Re就活」の月間マッチング数は、前年同期比平均112.3%で伸長しています。マッチング数(応募数)は、企業が効果性を図る重要な指標となります。マッチング数を順調に伸ばせているため、下期に受注・売上の山をつくることができると考えています。



5. 計画通り投資を実行しているとのことですが、具体的な中身はどのようなになっていますか？

それぞれ以下の項目で投資を実行しています。

- プロモーション投資：求職者向けデジタルマーケティングを強化しています。「Re就活」登録会員数の拡大、Re就活30の垂直立ち上げを図ることを目的に投資を行っています。
- 広告宣伝投資：テレビCMを中心に広告宣伝を強化しています。サービスのブランド力向上を図ることで、求人企業が第二新卒採用をはじめとした人材採用を検討する際に、「Re就活」が第一想起されることを目指しています。
- システム投資：Webメディアのリニューアルを進めています。2025年10月期第1四半期は、「Re就活キャンパス」ブランドリニューアルならびに通年採用化に取り組みました。「Re就活テック」についても、エンジニア経験5年以上の経験者とのマッチング充実を図るリニューアルを控えており、計画に沿って進めています。その他、データベースの再整備、基幹システムのアップグレードについても取り組みました。
- 新規事業開発投資：2024年10月30日にローンチした「Re就活30」の追加機能開発に加えて、2025年5月にローンチを予定している高卒・第二新卒向けの転職サイト「Re就活ユース」の開発を進めています。